

響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

No.35

2012年5月16日 発行



絵 百田 稔さん

6月より、書道教室・写経13時～同朋会15時～

行事のお知らせ

行事の報告

真宗大谷派
東本願寺

75th
Shinran



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

行事のお知らせ

6月11日

月曜日

・16時～

・前坊守13回忌法要

←※時間が変更になりました。

受付は、15時30分より

6月14日

木曜日

・14時～

・二木会

6月18日

月曜日

・13～16時

・親鸞教室

講師：海 法龍 師

浄願寺（千葉市）にて

6月28日

木曜日

・13時～

写経・書道教室

講師：青山 美智子 師

・15時～

同朋会

講師：小林 尚樹 師

教区駐在教導

7月12日

木曜日

・14時～

・二木会

7月26日

木曜日

・13時～

写経・書道教室

講師：青山 美智子 師

・15時～

同朋会

講師：未定

8月15日

水曜日

・18時～

盂蘭盆会

お知らせ

・6月より、書道教室・写経・同朋会の開始時間が変更になりました。**書道教室・写経13時～同朋会15時～**

・10月以降のお寺の行事日程は変わる場合がありますので、その都度、最新の寺報『響』でご確認下さい。

・いずれも平服で構いません。会費はありません。(無料)

9月13日 木曜日	・14時～ ・二木会
9月27日 木曜日	・13時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師 ・15時～ 同朋会 講師：小林 尚樹 師 教区駐在教導
10月11日 木曜日	・14時～ ・二木会 おみがき会
10月14日 日曜日	・14時～ ・日曜法話会 講師：高田 昌麿 師
10月25日 木曜日	・13時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師 ・15時～ 同朋会 講師：小林 尚樹 師 教区駐在教導
11月 未定	・道誠寺日帰りバスツアー 場所未定
11月22日 木曜日	・13時～ 写経・書道教室 講師：青山 美智子 師 ・15時～ 同朋会 講師：小林 尚樹 師 教区駐在教導

「二木会」は門徒さんの親睦を深める楽しい会です。初めての方でもお気軽に♪

「同朋会」は「正信偈」を皆でお勤めした後、真宗の教えに会う大切な場です。現在、「正信偈」を学んでいます。

電車を御利用の方は、市川大野駅まで車で送迎致しますので、お寺に電話お願い致します。(TEL 047-337-5305)

道誠寺で行われる行事は、会費はありません。



行事の報告

3月

8日(木)

「二木会」
にもくかい

みんなに抱っこしてもらいました。
名前は、「喜愛(きあい)」です。
よろしくね。



参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十三名参加

22日(木)

「書道教室」「写経」

「同朋会」
どうほうかい

書道 写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。 六名参加

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十六名参加

講師 小林尚樹

二月の同朋会に引き続き、

一切善悪凡夫人
いっさい ぜんあく ほんぶにん

聞信如来弘誓願
もんしん にょらい ぐぜいがん

仏言広大勝解者
ぶつごん こうだいしょうげしや

是人名分陀利華
ぜにん みやう ぶんたりけ

弥陀仏本願念仏
みだ ぶつ ほんがん ねんぶつ

邪見驕慢悪衆生
じやけんきやうまんあくしゆじよう

信樂受持甚以難
しんぎやう じゆじ じんになん

難中之難無過斯
なんちゆうしなん むかし

の「依終分」の部分でした。

「すべての善や悪にしばられて
いる人びとが仏の願いを聞き
信じるならば、仏はへほん

とうによくわかった者」と言われ
ます。この人は〈分陀利華〉と
名づけるのです。それは泥に
咲いて濁りにそまらない白蓮
華です。

永遠の仏の願いを信じ、忘れ
ずに名を称える念仏は、おこ
り、たかぶり、あなどる悪い人
たちには、そのままの心ではと
ても信じられないことです。信
心をおこすことほど、難しいこ
とはありません。」という意味
(戸次公正さんの意訳)です。

(←以下、同朋会内容一部要約)

縁に遇い、縁によって生きる
いのちあるもの全てに「凡夫
よ」と如来から呼びかけていま

す。その呼びかけを受け、本
願を疑わずに信ずる人は、泥
の中に咲く白い蓮華の花に喩
えられるのです。煩惱を抱え
罪を背負って生きている私た

ち凡夫は泥の中にいるのです。
その私たちが如来の本願をい
ただけ、清らかな信心、す
なわち白い蓮華が生まれるの
です。信心(白蓮華)は、煩惱
(泥)を大地として、生まれる
のです。泥でなければ咲かない
のです。

煩惱を抱え、罪を背負って
いるからこそ、凡夫の我が身
が教えられ、信心が生まれる
のです。

す。その呼びかけを受け、本願を疑わずに信ずる人は、泥の中に咲く白い蓮華の花に喩えられるのです。煩惱を抱え罪を背負って生きています。私たち凡夫は泥の中にいます。その私たちが如来の本願をいただければ、清らかな信心、すなわち白い蓮華が生まれるのです。信心(白蓮華)は、煩惱(泥)を大地として、生まれるのです。泥でなければ咲かないのです。

煩惱を抱え、罪を背負っているからこそ、凡夫の我が身が教えられ、信心が生まれるのです。

そして、その信心をいただくと五つの利益があります。それは、『正信偈』にあります。それは、①不断煩惱の利益、②衆水入海の利益、③心光常照護の利益、④横截五悪趣の利益、⑤諸仏称讚の利益です。

しかし、この信心をいただくことほど難しいことはありません。なぜなら、私たちはどこまでも如来の本願を疑い、我が身をたのむ凡夫だからです。

「聞」と言うは、衆生、仏願の生起・本末を聞きて疑心あることなり。これを「聞」と曰うなり。

きくというのは、本願をききてうたがうところなきを「聞」というなり。また、きくというのは信心をあらわす御のりなり。

4月

12日(木)

「二木会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

八名参加



今回の二木会では、晴れ晴れとした天気の中、桜の花を
観に行きました♪

二木会では、お天気が良ければ、外へ出て公園に行つた
り、喫茶店で茶話会をしたりしています。

初めての方もどうぞお気軽にご参加下さいね。

15日(木)

「日曜法話会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十五名参加

講師 高田昌磨

四月の日曜法話会は一月
の同朋会に引き続き、高田
昌磨 師よりお話いただきま
した。

(次頁 内容一部要約)

前回では『恵信尼消息』第一通、第二通についてでした。『恵信尼消息』とは、親鸞聖人の妻である恵信尼が娘の覚信尼に送ったお手紙です。

第一通、第二通は覚信尼への「下人」の譲り状なるものです。



第三通は、親鸞聖人が亡くなられた後のお手紙で、恵信尼が法然上人や親鸞聖人をどのように思っていたかということを告白されています。

恵信尼は、法然上人を限りない智慧を持つ勢至菩薩の化身として、親鸞聖人を観音菩薩の化身として見ていたのです。

他には親鸞聖人が比叡山を下り、六角堂で百日参籠したことや、法然上人との出遇いについて書かれています。

第四通には、親鸞聖人の御影が欲しいという思いが書かれています。

26日(木)

「書道教室」「写経」
「同朋会」

書道 写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

八名参加

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十六名参加

四月は、当山住職による
法話を聴聞しました。

(←以下、同朋会内容一部要約)

「人生の目的は何であるのか」
何も分からず、ただ毎日を
闇雲に過ごす私たちであり
ますが、南無阿弥陀仏のお



念仏によって、私たちが気付
かないで、忘れていた世界を
開かれてくるのです。つまり
仏さまの智慧をいただき、真
実に目覚めていくのです。

私たちはどこから来て、ど
こに行こうとしているのか、そ
のような不思議なことを、仏
さまに出会うことで、知らさ
れてくるのではないかと思いま
す。

仏の世界より来て、また仏
の世界にかえってゆくことが
お念仏(南無阿弥陀仏)なの
です。

5月

10日(木)

「二木会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

八名参加

法華経寺に訪れる予定で
したが、荒れ模様のお天気にも
まわれ、喫茶店での茶話会と
なりました。

道誠寺 ニューズ

「宗教法人」認可

時節因縁到来お慶び申し上げます。

平成24年3月6日に、千葉県庁より念願の「宗教法人 道誠寺」の認可を承りました。

振り返れば、昭和59年5月にこの地、市川市大野町にて念仏道場を開き、ご門徒の皆さまと共に南無阿彌陀仏のお念仏の道を歩んでおることを大変有難く思っております。

これまで、責任役員、総代、ご門徒、真宗大谷派関係、多くの皆さま方のご協力、ご支援がありましたことを深く感謝申し上げます。

一人でもより多くの方々
に南無阿彌陀仏のお念仏の道に出遇っていただけるとして、
あたたかみのあるお寺となるよう願っております。

これからもよろしくお願ひ致します。



4月25日には、当寺、道誠寺に本山から首都圏開教寺院の視察がありました。

たんにしよう

『歎異抄』って何ですか？

人生になにか問題があった時、その答えが必ず聖書の中にある。今日では、『歎異抄』がその聖書・聖典にあたるということになってきたようにおもうのです。(金子大栄)

多くの人々を魅了してやまない『歎異抄』。このたびその『歎異抄』の勉強会を発足させる運びとなりました。

「歎異抄って何だろう」、「興味はあるけど、おずかしそう」などと戸惑っている方、どなたでもご参加下さい。途中からの参加も大歓迎です。

堅苦しい講義形式ではなく、ミーティング形式のように、みんなと一緒にあって『歎異抄』に触れていきたいと思っています。

第一回目 7月19日 木曜日 午後3時

(休憩入れて2時間程度)

道誠寺客間にて

◆敬弔

※ホームページ上では

公表しません。

生前のご功勞を偲び、念仏合掌して哀悼の意を表します。

編集後記

◆同朋会・書道教室の時間が変更になりました。お間違えのないようご注意ください。また新たに「歎異抄の会」が開かれます。こちらもどうぞご参加下さい。詳しくは副住職まで。

◆娘、喜愛ももう三ヶ月です。たくさんのお誕生のお祝いをいただきました。どうもありがとうございました。

◆次回の『響』は、九月頃発行予定です。

しゃくこうせい
(釋光生)

御懇志

※ホームページ上では

公表しません。

敬称略

ありがとうございました。

編集：真宗大谷派 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野 1-26-31

TEL: 047-337-5305

FAX: 047-337-5306

URL: <http://douzyouzi.com>

住職 市野 慈敬 (釋慈敬)

副住職 釋光生